



JA種子屋久では、自己改革の取り組みについてのリーフレットを作成しました。各種総会・協議会等で活用していきますので、ご理解・ご協力をお願いします。今回は、②農業コスト抑制対策、③地域活性化を紹介します。



## ② 農業者のコスト抑制対策の実施

- ①部会組織肥料予約結算推進対策として、農家の生産コスト削減とJA部会組織の活性化を支援しました。
  - ✓1袋あたり10円～50円助成：種子島9部会・屋久島1部会
- ②大口取引先等への事業利用分量に応じた購買資材価格の値引き・助成を行いました。
  - ✓乾草大口需要対策(1個あたり45円～100円助成)
  - ✓肥料大口需要対策(1袋あたり40円助成)
  - ✓肥料大規模農家対策(1袋あたり100円～250円助成)
  - ✓予約肥料・飼料の単価値引き(全品目1袋あたり22円～27円値引き)
  - ✓春肥予約肥料自己取り助成(1袋あたり30円～40円値引き)
- ③農業フェアによる価格引き下げを実施しました。
  - ✓取扱い品目(12品目)／各品目15%価格引き下げ
- ④株出し用マルチフェアによる価格引き下げを実施しました。
  - ✓1本あたり324円引き下げ
- ⑤飼料(乾燥草)特別販売フェアによる価格引き下げを実施しました。
  - ✓オーツヘイP1個あたり15%価格引き下げ
- ⑥飼料用肥料特別販売フェアによる価格引き下げを実施しました。
  - ✓取扱い品目(2品目)100円～200円引き下げ
- ⑦南九州3県合同仕入による農業機械の販売を実施しました。
  - ✓取扱い品目(1品目)／30%価格引き下げ
- ⑧各部会・委員会との話し合いにより、地域営農ビジョンを新たに3品目策定し、品目ごとに5年後の数値目標と具体的な取り組み事項などを計画しました。
  - ✓3品目策定：原粉原料用甘藷・ブロッコリー・パレインゴ
- ⑨繁殖牝牛増頭対策として、生産基盤の維持・強化を図るために畜産農家経営をサポートしました。
  - ✓増頭奨励金1頭あたり5,000円助成／助成総頭数378頭
  - ✓自家保管牛1頭あたり10,000円助成／助成総頭数563頭
  - ✓生産性向上対策費(イブリード)の助成1頭あたり2,000円助成／助成総頭数1,691頭
  - ✓異常産ワクチン対策費1頭(2回接種)あたり1,836円の助成／助成総頭数1,150頭
  - ✓損耗防止対策費1頭あたり250円の助成／助成総頭数5,027頭
- ⑩サトウキビ増産基金事業(セーフティーネット基金)
  - ✓生産性向上支援事業(春・秋)新植に対する対策の実施(種苗助成)
  - ✓自然災害被害対策事業(春)新植に対する立替金の対応
- ⑪生分解マルチの設置による生産性向上と労働力軽減対策
  - ✓秋・春植えマルチ試験拡張(秋植え200本・春植え400本)
  - ✓原粉原料用甘藷の生分解マルチの普及拡大(455本 12.8ヘクタール)
- ⑫優良種苗支援対策
  - ✓原粉原料用甘藷・青果用甘藷バイオ苗、定植用苗の助成
  - ✓育苗ハウス・トンネル資材の助成
- ⑬さとうきび管理用トラクターアタッチメント一部助成(2台)
- ⑭産ブツ知理費用値上げに伴う各対策協議会への助成
- ⑮シカ対策資材(ネット・支柱)の一部助成

今後も農家の皆様の所得向上・コスト抑制のために対策を行います

